

横浜市立初音が丘小学校におけるおう吐、下痢による児童の多数欠席者の発生について

横浜市立初音が丘小学校において、令和7年1月29日（水）、全児童550名中16名が、おう吐、下痢の症状を訴え、欠席者が増加しました。感染経路につきましては、保土ヶ谷区福祉保健センターにおいて調査中です。校内の消毒や手洗い徹底の指導等を行うとともに、児童の安全を第一に感染拡大の予防措置として他学年と交流する活動については、延期又は中止、31日（金）及び2月3日（月）は授業の短縮、給食の提供を中止し、感染拡大防止に努めていきます。

1 学校情報

学校名 横浜市立初音が丘小学校 校長 坂本 陽子
全校児童数：550人 ※令和7年1月31日現在
所在地 保土ヶ谷区藤塚町1-1

2 おう吐、下痢による児童欠席状況

学年	在籍数	1月29日 (水)	1月30日 (木)	1月31日 (金)
1年	78	12(11)	17(9)	5(0)
2年	78	1(1)	7(3)	5(2)
3年	91	2(2)	6(4)	7(5)
4年	89	0(0)	3(3)	2(1)
5年	90	0(0)	6(4)	6(3)
6年	91	1(1)	1(0)	2(1)
個別支援	33	0(0)	1(1)	3(3)
計	550	16(15)	41(24)	30(15)

※児童欠席数のうち（ ）内は新規感染者数

3 経過

- 1月29日（水） 児童16名がおう吐、下痢により欠席。保土ヶ谷区福祉保健センターが、学校を訪問し、状況把握。感染症に関する調査指導を行った。保土ヶ谷区福祉保健センター及び教育委員会事務局の指導の下、学校は校内の消毒を行うとともに、手洗い徹底の指導や、給食の運搬・配膳方法などを変更した。また、学校から全保護者あてに連絡システムで注意喚起を行った。
- 1月30日（木） おう吐、下痢症状を中心とした健康観察、保健指導、消毒、職員による給食配膳などの対応を行った。また、教育委員会事務局で31日（金）の給食の提供中止を決定。学校から全保護者あてに連絡システムで連絡を行った。
- 1月31日（金） おう吐、下痢症状を中心とした健康観察、保健指導、消毒などの対応を行うとともに、授業を短縮し、給食の提供を中止した。また、教育委員会事務局で2月3日（月）の給食の提供中止を決定。学校から全保護者あてに連絡システムで連絡を行った。

4 主な症状

おう吐、下痢などの症状はありますが、いずれも軽症です。

5 原因

感染経路につきましては、保土ヶ谷区福祉保健センターの現地及び検便検査により調査中です。
なお、給食由来の可能性には否定的です。

6 学校の対応

感染拡大防止のため、職員が学校施設内の消毒を行い、児童に対しては手洗い等の指導を徹底するとともに、他学年と交流する活動については一部延期又は中止、1月31日（金）及び2月3日（月）は授業の短縮、給食の提供を中止します。2月4日以降の対応については、2月3日（月）の感染拡大の状況等を確認し決定します。

また、保護者に対しては連絡システムで注意喚起をし、健康観察をお願いしています。

お問合せ先	
(感染症対策に関すること)	教育委員会事務局 健康教育・食育課長 長田 和彦 Tel 045-671-3234
(給食に関すること)	健康教育・食育課担当課長 檜崎佳代子 Tel 045-671-3687